

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101192
事業所名	グループホーム 縁

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 管理者の自宅近くにホームがあり、近隣の方々が訪ねて来て利用者と交流し自然体で地域交流が行われている。 お茶・軽食を出してオレンジカフェを月1回開き、10数名の地域住民の来訪がある。他のグループホームからの見学も多い。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議を年間6回開催し、地域包括支援センター職員・地区総代・組長・お隣さん・介護相談員等、地域に根づいたメンバーで構成されている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に地域包括支援センター職員・介護相談員の参加、介護相談員の受け入れにより、ホームの状況は市の窓口を理解されている。 地域包括センターの会議に出席して連携をとっている。 グループホーム小部会で症例の研修の場で講師を引き受けている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者は地域出身者であるため家族の訪問が多く、その都度親身な話し合いが出来る。 バーベキュー、花見等の行事に家族の出席が多くあり、家族との話も密に出来ている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎			